市長と語る会での主な意見（公開用）

日　時　令和８年７月17日（金）午後７時～８時
場　所　帷子地区センター
出席者　29人

●市民文化部より「自治会の現状と今後の在り方」について事業説明がありました。その後質疑応答が行われました。

●他質問

【意見】 自治会の退会理由の多くが「地区役員の負担」である。現行の選出方法は実質的な強制となっており、裁判員制度のような指名制の導入検討や、会合の簡素化（メール報告への代替等）など、業務の大幅な軽減を図ってほしい。
【回答】現在も自治会の負担軽減の取り組みは進めているが、既存の依頼業務の整理や、世帯数に応じた選出数の見直し、担当課による依頼内容の統一の検討など、今後も負担軽減に努める。

【意見】 災害時、市は要支援者を把握しきれないため、自治会からの情報提供が不可欠である。この「防災・支え合い」の重要性を広くアピールすることで、自治会加入の意義を再認識してもらうべきである。
【回答】 災害時の自治会を通じた情報提供は非常に重要であり、平時から市と情報共有する訓練等が大切である。職員が少ない現状において地域の「自治力」は不可欠であるため、その重要性や災害への備えについて、より一層の PR を行う。

【意見】 外国籍住民の転入時に、自治会加入の案内は適切になされているか。また、各自治会独自のルール等を翻訳する支援をしてほしい。
【回答】 転入者には加入勧奨を含む「ウェルカムセット」を配布済みである。自治会独自の文書の翻訳については、原案をいただければ支援が可能である。

【意見】 市民憲章に、自治会等の地域組織へ加入し協力する努力義務のような文言を盛り込むことはできないか。
【回答】 直接的・強制的な表現は難しいが、地域の助け合いや組織の重要性を伝えていく。

【意見】 将来を見据え、次世代を担う子供たち向けの教育プログラムに、地域協力やボランティア精神を醸成するような内容を加えてほしい。
【回答】 市長が小中学校で行う出前授業において、地域を守ることの大切さや自治活動の意義を伝える内容を盛り込むことを検討する。